

〈茨城新聞ホームページ〉 <http://www.ibaraki-np.co.jp>

〈購読申し込み〉 フリーダイヤル(0120)029218

地域

本番さながら搜索

筑西で災害救助犬訓練会

北関東初

大規模災害で被災者の発見に活躍する災害救助犬の訓練会が13日、筑西市伊佐山の鬼怒川河川敷で行われた。北関東地区では初めて11府県から22匹が参加し、本番さながらに訓練が行われた。

災害救助犬は1999年9月にNPO法人「定災害救助犬42匹が、1年に富山市で初めて「災害救助犬ネットワ」連携して訓練や育成を育成され、阪神大震災「1ク」(富山市)が行っている。県内からなどで活躍。2007立され、会員87人、認は災害救助犬1匹と今



被災者の搜索に向かう災害救助犬「アンジェロ」 筑西市の鬼怒川河川敷

秋に審査を受ける訓練中の1匹が参加した。

この日は、河川敷の林やぶの中に隠れた救助者を発見する訓練が行われた。会員の号令で被災者がいると思われる付近をおいなどを頼りに搜索。発見すると大きくほえて知らせた。

つくば市真瀬の五十嵐美穂さん(43)は、認定災害救助犬アンジェロと参加。アンジェロは昨年10月に認定され、ふだんは週1回、栃木県小山市の訓練所で訓練を積み重ねている。

五十嵐さんは「災害救助犬に関心を持ち、3年前から訓練してきた。

今は犬と自分のきずなを強めるのが目的。犬の能力を高め、災害があれば出動したい」と話していた。

(高橋正樹)